

2025 日本語日本文化サマープログラム研修概要

研修コース名

2025 日本語日本文化サマープログラム

対象者

- ・日本国外のインターナショナルスクールや現地校に通う生徒 12 名程度。
- ・12歳～15 歳(中学生)で、生徒の国籍は問わないが、両親のいずれか、または両方が日本国籍を有する方。
- ・初級レベル(JLPT N4 または CEFR A2)以上の日本語能力を有する方。
- ・日本文化や日本語など、日本とのつながりを維持または深めていきたい方。

～初級レベルとは～

- ・基本的な日本語を理解することができる。
- ・日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。
- ・相手の助けがあれば、自分の考えや思い、要求を相手に伝えることができる。

研修を企画した背景

日本文化や日本語を自身の中に抱えながら海外で生きる青少年や、そのご家族に対して何かできないか。

- ・共通の背景を持つ青少年同士が各々の価値観や思いを共有することで視野を広げてほしい
- ・同世代が一定期間ともに生活することで、日本語を自然に話す機会を増やしたい
- ・幅広い年齢層の日本人との交流や日本文化体験を通して「日本」に対する興味と理解を深めてほしい
- ・一時帰国を利用した「体験入学」は手続きが煩雑で大変
 - ご家族の負担を少しでも軽減したい
- ・学校文化や授業内容に慣れる時間がなく、居心地が悪い思いをする子供たち
 - 各々の日本語能力に応じたサポートを受けながら、日本語および日本文化に向き合ってもらいたい

申込方法と申込から参加までの流れ

- ① 参加希望者はポスターにある QR コード(Google Form)を読み取って、申し込みを行ってください。もしくはこちらの URL にアクセスして必要事項をご入力ください。
お申込み URL: <https://forms.gle/PEj4KcS9GtRNcpCy7>
- ② 催行決定後、研修費用の支払い期限やキャンセルポリシー等をお知らせします。また Google Form で宿泊と送迎について確認をします。研修参加希望者の個人情報票と日本語能力の確認票フォーマットをお送りしますので、必要事項を入力して返送してください。
- ③ 開催日の2週間前を目途に集合日時・場所、持ち物、注意事項などを記載した最終確認書面「研修のしおり」をお送りします。

お申込み締め切り

2025年6月8日(日)

催行決定

開催日の1か月前。ただし今回は初回のため、参加希望者が数名の場合も催行する予定です。

研修費用(一人当たり)※研修参加者のことを以後「研修員」とする

研修員:88,000 円(宿泊・食事・日本語活動・訪問時の交通費・入場料含む)

研修員付き添い:37,000 円(宿泊費5泊6日、朝食込み)

前泊を希望される場合は、追加料金にて対応させていただきます。

研修費用支払い期限

開催日の3週間前

キャンセル料

申込者様のご都合により研修をキャンセルされる場合は受領済みの合計金額より振込手数料を引いた金額を銀行振込にて返金させていただきます。キャンセル料の詳細は以下のとおりです。

- 6月16日～6月28日までのキャンセル:80%返金
- 6月29日～7月5日までのキャンセル:70%返金
- 7月6日のキャンセル:60%返金
- 7月7日の研修開始前にキャンセル:50%返金
- 研修開始後の取り消し又は無連絡での不参加:返金なし

免責・欠席対応

欠席による参加費用の割引は行いません。また自然災害による、弊センターに帰することのできない事由により研修が開催できなかつたり、内容に変更が生じたりした場合、一切の責任は負わず、返金または損害賠償などの義務は負いません。

実施期間

令和7年7月7日(月)～令和7年7月12日(土)

研修実施機関

(公財)ひろしま国際センター

クラス数

1クラス

担当者

事務及び研修管理主担当	山領 文(プログラムオフィサー)
事務及び研修管理副担当	小田 周玄(研修課長代理)
日本語主担当	宮沢 知恵(日本語専任講師)
日本語副担当	雨宮 航平(日本語専任講師)
研修監理	上田 順子

研修目的

日本文化や日本語を含む複文化・複言語の中を生きる青少年が、その経験や想いを言語化し、共通の背景を持つ同世代と共有することで、自身を客観視するとともに、他者に共感したり、異なる視点に触れたりして、視野を広げることを目指します。また、幅広い年齢層の日本人との交流や平和学習、日本文化体験を通じて、「日本」への興味や関心を一層高める契機とします。さらに、日本を離れて生活している青少年同士の交流を通じて、安心感や仲間意識を育みます。

到達目標

- ① 研修員自身がかつ「日本」のイメージを再認識し、共有することで、その背景も含め「日本」に対するイメージの多様性を知る。
- ② 対話を通して、研修員の生活圏の文化を客観視し、「個」について考える機会とする。
- ③ 「今の自分たち」を形成するのに影響を与えた体験や出会いを振り返り、グローバル社会の多様性の中をどう生きるのか、考える契機とする。

研修日程

別紙をご参照ください。

評価

研修を通して体験したことや感じたことの記録、作成した成果物などのポートフォリオ
(日本語専任講師がじっくり目を通してフィードバックとともに返却します)

事故や体調不良者等への対応について

研修期間中、HIC¹が費用を負担し、「イベント賠償責任保険」に加入します。ただし、研修運営上の不備によるものではない偶発の事故については、保障の対象外です。

研修期間中はHICの担当者がHIP²に常駐し、体調不良者が発生した場合は適宜対応を行います。研修員は、日本の国民健康保険、国内旅行傷害保険、または海外旅行保険のいずれかに加入することを必須とさせていただきます。病気になった際には、加入している保険を利用して医療機関を受診します。治療費などの実費は研修員本人の負担とします。

その他(肖像権・著作権・通信等について)

肖像権・著作権等について

- ・研修参加者の許可が得られた場合、研修の様子を写真および動画撮影し、研修実施機関の資料およびPR素材とすることがあります。
- ・同様に、研修時に作成された著作物等についても、研修実施機関の参考資料およびPR素材とすることがあります。

通信等について

- ・研修実施に際して必要と判断された場合(授業準備・授業記録等、講師・関係者間の情報共有等)、研修参加者の個人情報を含むメール・郵便等を送信することがあります。
- ・研修参加者の許可が得られた場合、研修参加者本人宛の成績表、授業記録、その他の連絡事項等、漏洩することにより著しく被害を受けることが予想される場合を除き、通常のメール・郵便・ファックス送信を行うことがあります。
- ・通信内容に、漏洩することにより著しい被害を受けると予想される個人情報(住所・電話番号・口座番号・マイナンバー等)が含まれる場合、研修参加者本人宛であっても、暗号化もしくはパスワードロック、配達記録を取る等、適切な方法で送信します。

肖像権・著作権・通信等の許諾について

- ・別紙にて、研修参加者本人より、肖像権・著作権・通信等の許可を得ることとします。
- ・ただし、研修参加者が高校生以下の場合、保護者の同意も得ることとします。

¹ HIPとは弊センターがある建物名、Hiroshima International Plazaの略称

² HICはHiroshima International Centerという弊センターの略称

研修日程(案)

*各内容の下段に、担当者/引率者を示す

*PO はプログラムオフィサーの略称

月日	曜 日	午前			午後			備考
		9:30-10:20	10:30-11:20	11:30-12:20	13:30-14:20	14:30-15:20	15:30-16:20	
7/6	日	一部研修員チェックイン(前泊者)						
7/7	月	10:00~開講式/ID 撮影/館内 案内/生活オリエンテーション	アイスブレーキ ング	研修オリエンテ ーション	日本語 「仲間と話そう」		折り鶴アート 体験 (16:00~)	
		PO・研修監理	日本語講師	日本語講師		研修監理		
7/8	火	平和記念資料館・平和記念公園見学		宮島散策				
		PO		PO				
7/9	水	日本語 「広島の中学生と話してみよう」	昼食	学校訪問			茶道体験 (17:00~)	
		日本語講師		PO			研修監理 文化体験講師	
7/10	木	日本語 「地元の人と話してみよう」	郷土料理作り体験		日本語 研修の振り返り			
		日本語講師	研修監理・文化体験講師		日本語講師			
7/11	金	日本語 発表会準備					祇園まつり見学	
		日本語講師					PO	
7/12	土	10:00~発表会			12:30~閉講式			
		日本語講師			PO			

上記スケジュールは変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。